

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
実務演習 1											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	選	種別	実習	時間数	300	単位	10
担当教員	櫻井良明			実務経験	有	職種	建築設計				
授業概要											
建築に関する実際の仕事に即した学習により、高度な専門技術を修得する。											
到達目標											
学習した知識を生かして、自主的にトレーニングを行い、レベルを上げる。また、学習の到達度確認を自身で行うことができる能力を身につける。限られた時間で課題をクリアするための問題解決能力を身に付つけることを到達目標とする。											
授業方法											
製図試験の取組み方法から、時間内に一式図を完成できるまで集中的に取り組む。毎回の授業で製図課題に取り組み、必ず完成させて教員の添削を受けることで、自己の達成度を当日中に把握する。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
問題文読解、エスキス図完成、一式図完成、自己チェック、という流れを建築士試験と同一時間で行うため、個人により完成時間が異なる。早期終了した場合は、教員の個別指導後、他学生 of 答案や講評を聞くことで更に理解を深めることを望む。											
教科書教材											
授業配布資料											
回数	授業計画										
第 1 回	製図試験概要を把握し、試験合格に必要なスキルを理解する。										
第 2 回	平面図（基礎）の作図ポイントを身につけることができる。										
第 3 回	平面図（応用）の作図ポイントを身につけることができる。										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
建築学科	
実務演習 1	
第4回	断面図の作図ポイントを身につけることができる。
第5回	断面線、見えがかり線の書き分けができるようにすることができる。
第6回	立面図の作図ポイントを身につけることができる。
第7回	例題を基に、立面図が指定時間内に完成できるためのポイントを理解する。
第8回	図面以外に必要な記入項目について理解する。
第9回	エスキス案から平面図を完成させることができる。
第10回	エスキス案から断面図を完成させることができる。
第11回	エスキス案から立面図を完成させることができる。
第12回	エスキス案から矩計図を完成させることができる。
第13回	エスキス案①を時間内に作成し、他者のエスキス課題をチェックできる。
第14回	他者のエスキス案のチェックを通して自らのエスキス案を修正することができる。
第15回	エスキスの取り組み方について演習を通して学ぶことができる。

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
建築学科	
実務演習 1	
第 1 6 回	時間内完成の徹底、及び他者の案との比較を行い、自身の到達度を確認することができる。
第 1 7 回	エスキス案②を時間内に作成し、他者のエスキス課題をチェックできる。
第 1 8 回	他者のエスキス案のチェックを通して自らのエスキス案を修正することができる。
第 1 9 回	エスキスの取り組み方について演習を通して学ぶことができる。
第 2 0 回	外部で開催されている模擬試験を受験し、雰囲気・課題レベル・他者の意見などを体感することができる。
第 2 1 回	模擬試験①に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
第 2 2 回	模擬試験②に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
第 2 3 回	模擬試験③に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
第 2 4 回	模擬試験④に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
第 2 5 回	模擬試験⑤に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
第 2 6 回	模擬試験⑥に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
第 2 7 回	模擬試験⑦に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
建築学科	
実務演習 1	
第 2 8 回	模擬試験⑧に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高めることができる。
第 2 9 回	今までの課題を比較し、エスキス図を見比べて総復習を行い、試験前の総仕上げとすることができる。
第 3 0 回	本試験のエスキスを復元し、自己の完成度を確認するとともに他者の案と比較することができる。